



みんなのえがお

あいさつ1番! えがお1番! 元気1番!

川上小学校 学校だより 第16号

2026年1月28日

文責: 校長 村山輝美



5年生と4年生で委員会活動 スタート

1月13日の委員会で6年生から5年生へ委員会がバトンタッチされました。5年生は新しい委員会になり、4年生が新規加入です。5年生は、1年間委員会活動を経験しているのですが、自分たちが中心になって活動を進めていくようになり、やや緊張がみでした。いよいよ、最高学年に向けての準備が始まりました。そして、4年生も高学年への準備です。

早速、22日の児童集会で給食委員会の発表を5年生が中心になって進めてくれました。「立腰!」のかけ声を体育館いっばいに響かせ、ステージの上で全校児童にクイズを出題し、給食への関心を高めてくれました。感想交流から退場の指示まで自分たちで行うことができ、よい児童集会でした。

委員会活動とは、学校生活をより良くするために、児童が主体となって行う活動のことで、学年を超えた協力や「みんなのために働く」経験を通じて、自主性、社会性、責任感などを育み、達成感や自己有用感を高めます。川上小学校は、運営、集会、保健、スポーツ、給食、放送、ボランティア、環境、図書の9つの委員会に分かれ、自分たちの学校生活をよりよくしていこうと様々な活動に創意工夫しながら取り組んでいます。今後の子どもたちの活動、取り組みがとても楽しみです。



川上っ子 新年暗唱大会

1月13日と14日、総勢10名の地域の方々に来ていただき、冬休みに覚えた詩歌や小説等の暗唱を聞いてもらいました。

1年生は、詩「みみずのたいそう」。2年生は、初級:詩「ゆき」 中級:詩「サンタ」 上級:『風の又三郎』に分かれていて、上級に合格するとハンコを3つももらえました。3年生は俳句、4年生は百人一首、5年生は『枕草子』、6年生は北原白秋の詩「五十音(あめんぼの歌)」をそれぞれ覚え、みんな何度も暗唱を聞いてもらい、嬉しそうにハンコをもらっていました。

暗唱は、覚えることが目的ではありません。洗練された言葉で構成された詩や文章を、覚えるほど繰り返し声に出して読むことで、日本語のリズムや音の響きを味わい、言葉を増やしていくことが目的です。好きなお話や詩を覚えるほど読むことも大切な勉強です。



あおば活動（縦割り班活動）

あおば班で長縄にチャレンジしました。2学期に予定していたのですが、感染症予防のために中止していました。3学期がスタートし、少しインフルエンザも落ち着いたところで実施しました。あまり、練習ができなかったのですが、縦割り班に分かれ、上級生が下級生にアドバイスをしながら上手に跳ぶことができました。上級生が1年生にやさしく縄に入るタイミングを教えてあげたりゆっくり回してあげたり…微笑ましい光景でした。



ようこそ先輩



大和中の1年生（本校卒業生）6名が、6年生に向けて中学校の紹介をするために川上小学校にやって来ました。3名ずつ、1組と2組に分かれ、中学校の1日や学校行事、部活動など、プレゼンテーションソフトにまとめ、わかりやすく説明してくれました。1年前まで同じ校舎で学んでいた先輩なのに、6年生の質問にもしっかり答え、頼れる先輩に成長していました。6年生も真剣に話を聞き、4月からの不安も少しやわらいだのではないのでしょうか。



3年生 いちご農家見学

先日、3年生の学習に、JAから7名の職員の皆さんがゲストティーチャーとして来校されました。お話しいただいたテーマは、川上の特産物、「みかんの一生」と「いちごの一生」についてです。

一つの実が私たちの口に届くまでには、長い月日と農家の方々の努力があることを学びました。子どもたちは、自分たちが普段何気なく食べている果物に、たくさんの手間と愛情が注がれていることを知り、驚いていました。さらに、知りたいことがたくさん見つかり、講師の方が困るくらいの質問をすることができました。

講話のあとは、実際にいちご農家のハウスを訪問。ずらりと並んだ真っ赤な「一生の集大成」を目の前に、子供たちの瞳はキラキラと輝いていました。地域を支える農業の工夫や情熱を肌で感じ、ふるさとの食を誇りに思う貴重な一日となりました。

JAより3年生に大切に育てられた「みかん」と「いちご」をいただきました。いつもありがとうございます。持ち帰って美味しくいただいたことと思います。



授業参観のお知らせ

1月30日（金）、今年度最後の授業参観となります。

1～3年生は、13：35～ 4～6年生は、14：25～

となります。寒い中ですが、どうぞご参観ください。

*感染症予防のため、マスクの着用にご協力ください。